

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2011-36616

(P2011-36616A)

(43) 公開日 平成23年2月24日(2011.2.24)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
A 6 1 B 5/0245 (2006.01)	A 6 1 B 5/02 3 2 1 S	4 C 0 1 7

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 2 頁)

(21) 出願番号	特願2009-202042 (P2009-202042)	(71) 出願人	500082045
(22) 出願日	平成21年8月11日 (2009.8.11)		有限会社寿商店
			愛知県名古屋市中川区水里三丁目306-2
		(72) 発明者	高山 智寛
			名古屋市中川区豊成町1番5-525号
		Fターム(参考)	4C017 AA10 AB04 CC08

(54) 【発明の名称】 脈拍データの通信管理方法

(57) 【要約】

【課題】脈拍センサーで得た長時間で確実なデータを、インターネット通信で一括管理する方法は無かった。

【解決手段】軽量でスリムなブレスレット型通信装置付脈拍センサーを用いることで、長時間装着に違和感が少なくなり、確実な脈拍データを長時間連続で得ることができるようになり、そのデータをパーソナルコンピュータに取り込みインターネット通信で一括管理することができる。

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

脈拍データの通信管理方法。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、脈拍検出器で得られた脈拍データの通信管理方法に関するものであり、ブレスレット型にして手首付近に装着したブレスレット型脈拍センサーにデータ通信機能を付与することによって、容易に脈拍データをコンピューター処理できるようにし、そのデータを管理することによって、一人若しくは多人数の健康管理等を可能にするものである。

10

【背景技術】**【0002】**

個人脈拍データを、パーソナルコンピューターに送信し管理する方法や、インターネット通信により不特定多数のデータを一括管理する方法はあった。

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0003】**

従来技術である腕時計型通信装置付脈拍センサーは、一般男性用腕時計程度の大きさと 45 グラムの重量あり、長時間手首に装着すると違和感が発生し、一般生活においても不具合が生じることがあり、実用性に問題があった。

20

そしてその得られたデータをインターネット通信により一括管理する方法は無かった。

【課題を解決するための手段】**【0004】**

この課題を解決するための請求項 1 の発明は、機能を脈拍検出だけに絞り込むことで重量を 25 グラムまで軽量化し、長時間手首に装着していても、軽量でスリムなので違和感が少なく、確実なデータを確保送信し続けることができるブレスレット型通信装置付脈拍センサーのデータをパーソナルコンピューターに取り込み、インターネット通信で一括管理することができる。

【発明の効果】**【0005】**

本発明により、ブレスレット型通信装置付脈拍センサーによる長時間モニターの一括管理が可能となり、健康維持管理等の連続監視が可能になる。

30

【産業上の利用可能性】**【0006】**

医療健康産業分野のみならず、独居老人等の健康管理モニターにもインターネット通信による一括管理することで利用可能である。

また、同時にインターネット通信を利用して、音声と映像を付加することにより、より一層の管理が可能となる。